

令和4年度 基本方針

鹿児島県弓道連盟

○ はじめに

昨年度は、新型コロナウイルス蔓延の影響で三重国体や県民体育大会などが中止となつたが、県内の主な大会や講習会は概ね実施することができ、会員をとりまく状況はやや改善できた。しかし、審査会については生徒の式段以下はビデオ審査で実施せざるを得なかつたなど一昨年以来、会員の弓道への意欲や本連盟の運営へ及ぼす大きい影響が続いている。

このような状況は本年度も引き続き続くことが予想されることから、弓道の普及、向上を図るため、新型コロナの蔓延状況を勘案しつつ感染対策を講じながら講習会、大会、審査会等の実施に努め、会員の技術力、競技力の向上図ることが重要であると考える。

こうした情勢を踏まえ、本年度は次の事項を重点におき事業を推進する。

○ 令和4年度の重点事項

- 1 全日本弓道連盟の事業計画に即し、新型コロナウイルス対策を講じつつ講習会・審査・競技等の実施に向けて具体的な対応に取り組み、本県弓道の普及・向上に努める。特に審査については原則として従来の集合形式での審査を行うよう努める。
- 2 会員の技術力向上には、基本に徹する体配・射技射法の修練が重要であることから、会員への審査会・講習会等への参加を奨励するとともに、講習会においては基本の重要性を認識させるなど、会員が自らを高める稽古に専心する気運を醸成するよう努める。

さらには、指導者の資質向上を図るため、講習・研修体制の充実を図る。

- 3 弓道の振興には弓道人口の拡大が不可欠であることから、弓道教室開催は重要であると考える。このため、引き続き各地域での弓道教室開催への支援を行うなど初心者の受け入れ体制の充実、拡充に支援を行う。

さらに、各地区の道場においては、会員相互の融和と親睦を図るとともに、互いに切磋琢磨する弓道修練を奨励する。

また、学生・生徒の弓道人口の充実も重要であることから、大会の運営や支援の充実に努める。

- 4 かごしま国体が一年後にせまり、県や開催地の出水市と連携して準備を進めなければならない。特に、競技運営に関しては県連が担当して進めなければならないことから、競技役員の編成や競技運営を支援する態勢を連盟で準備、構築する必要がある。このため、支部長はじめ会員の皆様への協力をお願いする。

また、かごしま国体では総合優勝を目標に掲げており、今年度から更なる強化を図らなければならないことから、選手の強化についても支部長はじめ会員の皆様へのご協力を併せてお願ひする。